



MMWIN[®]みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 119

東北大学病院のカルテ情報が共有されるようになりました！

東北大学病院様は、これまで放射線読影レポート、生理検査レポート、病理レポート、内視鏡レポートなどをMMWINに公開・共有されております。この度MMWIN内の医療機関でカルテ共有が推進されることを目指し、張替 秀郎 東北大学病院長の号令の下、2024年7月から東北大学病院の医師のカルテ記載（プログレスノート）、看護サマリ、退院サマリ、紹介状がMMWINで公開・共有が始まり、同意患者さんの臨床情報が閲覧できるようになりました。今回の大学病院のカルテ共有に対するお考えなど張替 病院長にお話を伺いました。



東北大学病院
張替 秀郎 病院長

MMWINにバックアップされているカルテを含めた医療情報が共有されるようになることで、以下のようなメリットが期待できると考えております。

1. 医療の効率化: 病院間で患者さんの診療内容が確認できるため、紹介時の作業が効率化され、スムーズな紹介・逆紹介が可能になる。
2. 医療安全の向上: 病院間で診療・説明内容が把握できるため、一貫性がある医療が提供されるとともに、病状・診断に対する理解に齟齬が生じないようにする。

そこで、当院の医師が記載するカルテを含めた診療内容を、他の医療機関へ公開・共有することから始めることにしました。今後、現在共有できていないレポートなどの拡充も進めていければと考えております。

これらの取り組みの有効性を実感していただくことで、他の病院でも同様にカルテ情報の共有が行われるようになり、県内全体で医療の効率化が進むことを目指して行ければと考えます。また、多くの患者さんがMMWINに参加し、MMWINの利活用が大いに進むことも期待しております。



図：プログレスノートを参照するまでの操作イメージ

※対象患者はあらかじめ東北大学病院と紐付けられている必要があります

東北大学病院様のカルテやサマリ情報、紹介状の共有は、県内の医療機関にとって非常に大きな恩恵が期待されます。これにより、県内の医療機関の医療・介護従事者様が、紹介・逆紹介時や退院時における施設間の円滑な情報連携を実現し、情報共有に係る現行の業務負担（紹介状作成、不足情報の問い合わせ）の軽減が期待できます。また、患者さんにとっても、地域医療ネットワークを利用することによる効果（在宅医療や介護の質向上、エビデンスに基づいた処方監査、緊急搬送時の迅速な治療開始、通院負担の軽減）をより実感できる環境が整いつつあります。引き続き、「災害時のバックアップ」から「地域連携の重要ツール」へと、その重要な役割をMMWINが担うように取り組みを進めてまいります。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)
【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>
【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp



『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。